

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	選択説明	コースを選択するために生命と自然科学の概論を対比できる。	資料や板書きにより、各コースの担当者がコースの概要を説明する。	コース担当者 全員	
2	4/12	概論	1. 科学的とはどういうものか、説明できる。 2. 疑似科学として陥りやすいあやまちについて説明できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。	松原郁哉	
3	4/19		1. 疑似科学にはどのようなものがあるか列挙できる。 2. 自分が調べるテーマを決定できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。テーマを選択する。	松原郁哉	
4	4/26	学説の論拠の調査	1. 文献検索で必要な資料を探することができる。 2. インターネットで資料を検索できる。 3. 資料の出典の書き方を説明できる。	図書館で文献検索する。 PCでLANを使用し資料を検索する。 資料を用いて解説し、演習を行なう。	松原郁哉	準3-(1)
5	5/10		1. 収集した資料より、テーマに必要な内容を抽出できる。 2. 抽出内容を発表するためにまとめることができる。 3. プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成できる	検索した資料から必要な部分を選び提出する。 プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
6	5/17	中間発表	自分が選んだテーマについて口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	プレゼンテーションソフトを使って発表する。 他人の発表内容について検討する。	松原郁哉	準3-(1)
7	5/24		//		松原郁哉	
8	5/31	学説の検討	1. 資料を基に、自分で考えることができる。 2. 自分の考えを発表するためにまとめることができる。 3. 完成度を高めるため指導教員や学生同士で討議できる。	いくつかのテーマに関する資料を配布し、その資料に基づいて考察を書く。 自分で収集した資料を基に、プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
9	6/7		//		松原郁哉	
10	6/14		//		松原郁哉	
11	6/21		//		松原郁哉	
12	6/28	まとめ	1. 自分が選んだテーマに対する自分の考えを口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。 2. 自分が選んだテーマの解説とそれに対する自分の考えをレポートにまとめることができる。	学習者が発表し、その内容について学生同士で討議する。必要であれば修正し、再度発表する。 ワープロソフトでレポートを書き、提出する。	松原郁哉	準3-(1)
13	7/5		//		松原郁哉	
14	7/12	安心 食の安全と	1. 食物に使われる農薬を列挙できる。 2. 農薬の除去法を説明できる。	PCと資料を用いて講議する。	川瀬俊夫、 斉藤 勲 (招聘講師)	総 (II)-6-B-3-c,d
15	(/)	合学習 ふり返り総	1. 学説の正当性を確かめるための資料の集め方を習得する。 2. 判断の基準を理解する。 3. 発表方法を習得する。	PCと資料を用いて講議し、演習を行う。	松原郁哉	

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
16	9/6	概論	1. 科学的とはどういうものか、説明できる。 2. 疑似科学として陥りやすいあやまちについて説明できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。	松原郁哉	
17	9/13		1. 疑似科学にはどのようなものがあるか列挙できる。 2. 自分が調べるテーマを決定できる。	資料を用いて要点を板書きし解説する。テーマを選択する。	松原郁哉	
18	9/27	学説の論拠の調査	1. 文献検索に必要な資料を探ることができる。 2. インターネットで資料を検索できる。 3. 資料の出典の書き方を説明できる。	図書館で文献検索をする。 PCでLANを使用し資料を検索する。 資料を用いて解説し、演習を行なう。	松原郁哉	準3-(1)
19	10/4		1. 収集した資料より、テーマに必要な内容を抽出できる。 2. 抽出内容を発表するためにまとめることができる。 3. プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成できる	検索した資料から必要な部分を選び提出する。 プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	
20	10/18	中間発表	自分が選んだテーマについて口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	プレゼンテーションソフトを使って発表する。 他人の発表内容について検討する。	松原郁哉	準3-(1)
21	10/25		//		松原郁哉	
22	11/1	学説の検討	1. 資料を基に、自分で考えることができる。 2. 自分の考えを発表するためにまとめることができる。 3. 完成度を高めるため指導教員や学生同士で討議できる。	いくつかのテーマに関する資料を配布し、その資料に基づいて考察を書く。 自分で収集した資料を基に、プレゼンテーションソフトで発表用の資料を作成する。	松原郁哉	準3-(1)
23	11/8		//		松原郁哉	
24	11/15		//		松原郁哉	
25	11/22		//		松原郁哉	
26	11/29	まとめ	自分が選んだテーマに対する自分の考えを口頭で発表でき、その内容について皆で討議できる。	学習者に発表させ、その内容について学生同士で討議する。必要であれば修正し、再度発表する。	松原郁哉	準3-(1)
27	12/6		//		松原郁哉	
28	12/13		//		松原郁哉	
29	12/20		自分が選んだテーマの解説とそれに対する自分の考えをレポートにまとめることができる。	ワープロソフトでレポートを書き、提出する。	松原郁哉	準3-(1)
30	(/)	合学 習 ふり 返り 総	1. 学説の正当性を確かめるための資料の集め方を習得する。 2. 判断の基準を理解する。 3. 発表方法を習得する。	PCと資料を用いて講義し、演習を行う。	松原郁哉	